小規模校特認校　姶良市立西浦小学校
「花とポエムと少年消防クラブ」　にしうら
学校HP
学校だより　令和７年６月

危機意識を高め，自分の命を自分で守る

校長　　久木崎　晃誠

奄美・沖縄地方よりも一足早く梅雨入りしました。とはいえ，例年，奄美・沖縄地方の梅雨明けは６月下旬あたりなので，今年の梅雨は文字通りの「長雨」となりそうです…。

昨年度のこの時季は徳之島で「大雨」を経験し，テレビでも報道されました。自分の住んでいた地区は高台だったので，洪水等とは無関係だとタカをくくっていましたが，その地区で「床下浸水」のテロップが流れ，驚かされたことを思い出します。（他町では孤立地区もあったようです…）

自然災害に関しては，５月中旬の桜島の連続噴火もあり，昨年度の合計回数を超す勢いだとか…灰雨で運転しづらいのも困ったものですし，大きな噴火にならないことを祈ります。

このように大丈夫だと思っていたり，普段はあまり気にしていなかったりすることが，意外な形で現れることがあります。ゴールデンウィーク前後には，小学生の登下校時に車が突っ込んでくるという思いがけない事故（過失）や事件（故意）が発生しました。大きな被害に繋がった件もあり，胸が痛みます。このような大きな事故が起こるのには，以下のような「法則」があるそうです。

ハインリッヒの法則とは「1件の重大事故の裏には29件の軽微な事故と300件の怪我に至らない事故がある」というものです。ハインリッヒの法則は労働災害における怪我の程度を分類し、その比率を表しています。その数字から1：29：300の法則と呼ばれることもあります。

ハインリッヒの法則が示しているのは、重大事故の背後には一定数の軽微な事故や「ヒヤリ・ハット」があるということです。

重大事故になるか「ヒヤリ・ハット」で済むかは、あくまでも確率の結果であるということです。重大事故になるか「ヒヤリ・ハット」になるかは偶然であり、サイコロを振って出た目が1だったか6だったかと同じという考えです。330面のサイコロのうち、1つの面が重大事故であり、29面が軽微な事故、残りの300面が「ヒヤリ・ハット」であると想像してもらえば分かりやすいでしょうか。

重大事故という「結果」は不安全な行動や不安全な状態という「原因」から生まれるものであり、重大事故と「ヒヤリ・ハット」は一つのサイコロの異なる面でしかない、と考えることができます。　…中略…

重大事故は330回目に起こるわけではありません。「ハインリッヒの法則はサイコロのようなもの」と説明しましたが、サイコロで考えればわかるように、「6」の目が出る確率は1/6ですが、必ずしも6回目まで「6」の目が出ないわけではありません。事故も同様で、1回目で重大事故が起きることも十分ありえます。…　*引用（一部改　文責：久木崎）；© Copyright 2022 物流現場通信 by SGﾌｨﾙﾀﾞｰ. All rights reserved.*

大きな事故が１回目で起きてしまうのは防ぎようがありませんが，「ヒヤリ・ハット」で済んでいるうちに何らかの対応を行うことができれば未然防止に繋げることができそうです。

学校では，交通事故防止のための交通安全教室を４月に実施しました。また，自然災害に関しては，地震・津波を想定した避難訓練，大雨を想定した引き渡し訓練も実施済みです。２学期以降は不審者対応，火災避難の訓練を実施する予定です。いずれも子供たちに「自分の命を自分で守る」ことができるように毎年行っているのですが，実際に地震が発生した時に担任の指示がなくても机の下に避難する等，訓練で学んだことを生かして自分の命を守る場面が見られることがあります。

では，家庭や地域ではいかがでしょうか。本校は，団地からの集団登校，校区外からのタクシー・バスでの登下校となっており，登下校時の交通事故に関しては大丈夫だと考えられます。しかし，集団登校の際，一部大きな道路を通る所では…タクシーやバスを待っている間は…等，細かく見ていくと気を付けた方が良いことはありそうです。そのような場面での「ヒヤリ・ハット」を大きな事故に繋げていかないために，安全な行動を教えることはもちろんですが，子供たち自身で気付き，考え，実行できるようにする（ＫＹＴ＝危険予知トレーニング）ことも大切だと考えます。

一方で，心配だけが先走ってしまうと，何にもできなくなってしまうのも現実です。毎日でなくとも様々な機会を捉えて，自分（及び家族等）の安全（命）を守るためにどのような行動をすればよいかを話し合い，「（あってはならない）いざ」という時に備えることが大切だと思います。

かけがえのない子供たちの命を守るために，継続した取組を今後ともよろしくお願いします。

～５/10（土）授業参観・救命救急法講習会・風水害引き渡し訓練～

今年度最初の授業参観を１時間目に実施しました。子供たちの様子は，いかがだったでしょうか。いつもより緊張気味の子供たちでしたが，精一杯学習に取り組む姿を見ていただくことができました。

２時間目には、蒲生分遣所の方々を講師としてお招きし、救命救急法講習会を実施しました。今回は保護者のみを対象とした講習会で，質問しながら実技を行い，充実した活動となりました。３時間目には風水害を想定した引き渡し訓練を実施しました。お忙しい中，たくさんの保護者の方々に御来校・ご参加いただき，ありがとうございました。

５/20（火）　通学路安全点検を行いました。

少年消防クラブ活動（BFC）の一環として，美化活動を兼ねた通学路安全点検を全校児童で行いました。隊長のあいさつの後，BFC の２小隊に分かれ，団地方面・社野方面に向かいました。

通学路の危険箇所を点検しながら，西浦校区の美化活動にも取り組む，少年消防クラブの子供たち。これからもこの伝統を大切にしていきたいと思います。

５/23（金）　春の１日遠足

５/23（金），全校児童で春の１日遠足に出かけました。目的地は鹿児島市の「県警察本部」「県庁」「市立科学館」の３か所です。

警察本部では，見学をしたり担当の方から説明を受けたり、DVD 視聴を通して自分の安全を守る方法を学んだりしました。実際の通信指令室の様子を見た子供たちは，教科書だけでは分からないことについて，気付くことができていたようです。

警察本部前で写真撮影後は，隣の県庁最上階へ。きれいな眺望に歓声が上がりました。

昼食後に向かった市立科学館では，様々な実験コーナーや体感コーナーがあり，目を輝かせて活動する姿が印象的でした。

楽しい思い出を，西浦小学校のみんなでまた一つ増やすことができた１日となりました。保護者の皆様，朝早くからお弁当の準備，ありがとうございました。

７月の予定

２日（水）スクールカウンセラー来校
３日（木）水泳参観・大会　全体・学級 PTA
７日（月）第２回俳句教室
８日（火）あいあい号（13:10～13:30）
９日（水）市教育委員会訪問
10 日（木）学校評議員会
12 日（土）土曜授業日・家庭教育学級
14 日（月）かごしまジュニア検定（5・6 年）
16 日（水）着衣水泳
18 日（金）終業式
20 日（日）川遊び体験
22 日（火）教育相談旬間（～29 日）
　　プール開放（～25 日）

６月 17 日（火）～25 日（水）　家庭学習強調週間　【蒲生中ブロック共通実践事項】
チェックカードを活用し，普段の家庭学習への取組方を見直すよい機会としてください。